

飯田市を中心とした 定住自立圏構想の協定を 結びました

飯田市が周辺町村に呼びかけ
広域連合とは異なる、新たな地域経営の形へ…

政府(総務省)は昨年、新たな地方制度・地域振興策として「定住自立圏構想」を打ち出しました。これは、一定要件を満たした中心市・周辺市町村が連携して役割を分担し、同じ圏域内の住民皆が定住可能な生活機能(医療や交通網など)を確保しようとするための仕組みです。

この構想に早くから着目し、全国で二十四の先行実施団体に名乗りを上げた飯田市は、この三月末に「**中心市宣言**」を発表しました。ここ飯田下伊那郡の圏域が、文字通り定住自立圏となることを目指し、当村をはじめ周辺町村に対し、積極的な呼びかけ・提案をしています。飯田市に隣接する当村として、前向き且つ慎重に検討し協定を結びました。

定住自立圏は、既にある広域連合等とは異なり、中心市と周辺町村が「**対一**」の**対等な協定**を締結。この協定を積み重ねる結果として形成されます。

市と町及び村が、協定で定めた分野・事業等に共同して取り組むこと等により、相互のメリットを創出していきます。この際の費用負担に対し、**国からの補助・支援**が受けられることもメリットの一つです。

中心市と周辺町村が、このような協定によって互いに連携・協力を図っていくことは**新しい地域経営の形**であり、広域連合と相互に補充し、圏域の充実強化を図っていくものであります。

▼下の図はその概要です。

▼この要綱の詳細は、総務省ホームページでご覧下さい。
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/teizyu/index.html

定住自立圏構想推進要綱の概要



現在までの状況と今後の進め方

- ① 飯田市の提案や、当村だけでは解決できないような政策課題の掘り起こしをもとに、具体的な協定の内容について、飯田市との協議を進めました。
 - ② 協定の締結には両市村の議会の議決が必要で、この六月定例会で、飯伊十四市町村にほぼ共通の基本的な取組事項を主とする協定が議決されました。今のところ下伊那の全市町村が同じ歩調です。
 - ③ 協定が議決されると、協定に基づき**実施計画**（共生ビジョン）を策定して、具体的な取組を進めていきます。
 - ④ いったん締結された協定であっても、その後、両市村の議会の議決を経て、協定を中止したり、**内容の一部を削除・追加することも可能**です。
- めまぐるしい状況変化の中で、新たな課題が現れたり、他の解決手段が見つかることも考えられるので、弾力的に対応していきます。

七月十四日に締結調印式が行われました。

いづれも、飯田下伊那の関係市町村間で既に取り組みが始まっていたり、実現に向けて連携が確認されていた課題が主なものです。

もともと飯田下伊那の広域連合や市町村間の連携は、全国的にも先進と評価されています。これを定住自立圏の枠組みに振り替えることにより、限りある財政支援のメリットを早く得ようとするものです。

今後は下條村と飯田市との間で、必要に応じて新たな協定項目の研究と協議に臨みます。この際には、費用負担や役割分担の程度を慎重に見極める必要があります。

村民の皆さんがいつまでも住みなれた地域で安心して暮らせるために、この協定がよりよいものになるよう対応します。



下條村の協定内容

●生活機能の強化に係る政策分野

(1)医療

- ①**救急医療や産科医療体制の確保** ◆既に連携して取り組んでいる課題
- ②**大規模災害医療救護体制の整備** ◆既に連携して取り組んでいる課題

(2)福祉…**圏域健康計画の策定** ◇新たに連携して取り組もうとする課題

(3)産業振興

- ①**地域産業センターの運営等** ◆既に連携して取り組んでいる課題
- ②**鳥獣害防止総合対策** ◇新たに連携して取り組もうとする課題

(4)地域ぐるみによる**環境関連活動** ◇新たに連携して取り組もうとする課題

●結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(5)地域公共交通及びICTインフラの整備

- ①**地域公共交通ネットワークの構築** ◆既に連携して取り組んでいる課題
- ②**地域情報共有システムの構築** ◇新たに連携して取り組もうとする課題

(6)地域内外の住民との交流及び移住の促進

…に**ぎわい拠点の整備** ◇新たに連携して取り組もうとする課題

●圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

(7)人材育成等…**職員の研修など** ◇新たに連携して取り組もうとする課題